

令和5年度第5回小平市社会教育委員の会議要録

と き：令和5年12月14日（木）午前9時30分～午前11時25分

ところ：市役所5階 505会議室

1 出席者

小平市社会教育委員 10人
傍聴者 なし

2 内容

<議題>

資料に基づき、事務局から説明を行った。

- (1) 第54回関東甲信越静社会教育研究大会 栃木大会について（報告）
- (2) 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について（報告）

<事務局報告>

各課・各館より、実施事業等について報告した。

【地域学習支援課】

- (1) 令和5年度青少年健全育成講演会について（報告）
- (2) 令和6年二十歳の集いについて

【公民館】

- (1) 公民館主催イベント（10月、11月）について（報告）
- (2) 公民館主催イベント（1月）について

【図書館】

- (1) 東京文化財ウィーク 2023 講演会「小平の神社の歴史」について（報告）
- (2) 英語の絵本の読み聞かせとおはなしの創作について（報告）
- (3) スペシャルおはなし会について
- (4) 第44回ふるさとの新聞元旦号展について
- (5) なかまちテラスの臨時休館について

<その他>

資料に基づき、公共施設マネジメント課から説明を行った。

- (1) 小川駅西口新公共施設等の管理運営に係る概要事項 たたき台について

3 議題及び事務局報告等についての意見・質疑応答

○委員 社会教育研究大会の第1分科会のテーマ、ウェルビーイングの実現に向けた社会教育の取組において、読書バリアフリー法に基づいた様々な施策の展開について伺ってきた。小平市の図書館の事業統計でバリアフリーの様々な貸出件数などがある。その中で、カセットテープやデージー図書の貸出しのニーズがあるのか。また、今後の読書バリアフリー法についての考えを聞きたい。

○事務局 図書館でも録音図書で、カセットテープ、デージー図書などを取りそろえているが、カセットテープの貸出しはかなり減ってきている。

デージー図書の再生機なども貸出ししているが、年間で数件レベルである。だからといって、このサービスをやめるということではなく、必要に応じて、対応していくことが大事である。

読書バリアフリーについては、今までの紙の書籍のサービスだけでは実現できなかったことが、今般のデジタル技術の発展に伴い、主に電子書籍などにより、電子端末を利用することによって、音声が出てくる、画面の中で色をつけてハイライトにしたり、拡大したりすることが可能になってきている。今後のデジタル化は、読書バリアフリーに非常に有効な施策になってくると考えている。

○委員 資料No.8と9のおはなし会について、英語の読み聞かせは、後半に絵本のその後の話の制作も行うので、小学校4年生からとなっているのか。スペシャルおはなし会で開催日時が平日の午後3時30分からとなると、共働きだと来られない。ふだん働いていて、あまり社会教育や、地域に出られないお母さんたちのために、土日や夏休みに開催できないか。できたら英語があると、もっとたくさんの方が興味を示すので、ぜひ検討をお願いしたい。

○事務局 今回、英語のおはなし会も、白梅学園大学との共催で、開催方法についてはいろいろと検討した。今回4年生から対象としたが、内容も簡単なものにするなど、バリエーションもあると思うので、今後検討していく。

また、スペシャルおはなし会も、土日開催も含めて、今後検討していければと思う。

○委員 資料No.5の中央公民館サークルフェアについて、11月3日に参加したが、福祉バザーが同時に行われていて、中央公民館の駐車場に止めて、福祉バザーに行く方もいたようで、公民館の通路を通りながら展示物を見たり、チラシを受け取ったりして、ふだんは来館しない方も、声かけをするとブースを回ったりしていた。このようなサークルがあるということを知るよい機会になったと思うので、ほかのイベントとタイアップすることも相乗効果があるのでいいのではないかと思った。

津田公民館は、2日間で988人と、たくさん参加しているが、何か特別なイベントがあったのか。

○事務局 もともと津田公民館は、分館の中でも非常に参加者が多く、去年は約500人で倍増して来館者が増えた。今回、講演会を落語会にし、非常に好評だったと伺っている。

また、物販が再開していることも、効果があったのではないかと考えている。

○委員 インフルエンザが大流行ということで、本校では学年閉鎖もあり、学級閉鎖もありで、

運動会で大変苦しんだ。

小平第一小学校、小平第二小学校、花小金井小学校がそれぞれ150周年、150周年、50周年の記念行事を行い、今年度は、かなり従来どおりの、本当に地域を挙げてのお祭りというか、みんなで祝うという、本当に温かい記念行事になっていた。

また、小平第三小学校、小平第九小学校、花小金井南中学校が今年は研究発表会を行う。小平第三小学校はICT、小平第九小学校は人権をテーマに発表は終了しているが、こちらも、PTAをはじめ、地域の方々にしっかり支えていただいて、万全の体制の下でいい発表ができたと思う。

花小金井南中学校はこれから1月に研究発表を控えている。それぞれの学校の研究してきたものが、いろいろな形で波及し各学校に伝わって、教育の資質向上に寄与していることがすごく実感された。

○委員 図書館のぬいぐるみのおとまり会は、どういう結果だったのか。

資料No.10のふるさとの新聞元旦号展は、中央より西側の図書館のほうが多いが、できたら東側、鈴木公民館や花小金井図書館で実施できないか検討してほしい。

市報に冬休みこども落語会という案内があったが、4歳から小学生となっていて、これは保護者同伴でいいのか、一言書いておいたほうがよかったのではないか。

公民館のシニア講座でタブレットやスマホを学ぶということについて、スマホでiPhoneを使っている方が多いと思うが、なぜAndroidを特別に選んだのか。

○事務局 ぬいぐるみのおとまり会は盛況で、成功裏に催すことができた。申込人数の関係で参加できなかった方もいるので、次の機会を検討したいと考えている。

新聞の元旦号展について、花小金井図書館などでの開催も検討したが、この展示を行うためには、広いスペースと、何台ものテーブルが必要になる。東側の施設では、広いスペースを一定の期間確保することは厳しいこともあり、やむを得ず断念をしている状況である。

落語会については、新しい企画として仲町で開催するが、保護者の関係の記述がなかったということで、今後改善していく。

○事務局 当初はiPhoneを多く、講習会を行っていたが、参加者や申込者から、Android版をやってほしいという希望が非常に多くあり、昨年もiPhoneとAndroidと、並行、2回行ったりしていたが、Android版のほうが、周りに使う方が少ない、教えてくれる方が少ないということと思うが、非常に要望が多いということで、Android版の講座が多くなっている。

スマホ体験会も、現在はAndroid版ということで、東京都で実施しているので、そのまま対応している状況である。

<その他>

○委員 資料No.12の2ページのイメージ図の中に、大学・企業との連携とある。令和8年と少し先になるが、このところを丁寧に取り組んで、地域にとって施設がよりいいものになれば

と思う。

○事務局 昨年度の広場の設計に係るワークショップで、近隣の職業能力開発総合大学校や武蔵野美術大学に来ていただくなどしている。ご意見を踏まえて、いい形にしていきたい。

○委員 大学・企業とあるが、ぜひ中学生、高校生の若い世代から一緒に取り組んでいく施設になるといい。若い世代の人が集まる施設になるといいと思っている。地元の中学校だけでなく、全体的になればいいと思っている。

○委員 指定管理になるということは、ほかの公民館と図書館とのつながりはどうなるのか。

○事務局 図書館に関して、指定管理になった場合でも、サービスや市の図書館ネットワークという点で小平市の一地区図書館という位置づけは変わらない。

○事務局 公民館については、資料№12の3ページ、現時点では公民館は直営と想定されている。このままでいくと、公民館職員が常駐ということになるかと思うので、今までと同じ体制での運営になると考えている。

○委員 3ページ、新複合施設の各部屋は、各機能の専用部分とはしないということで、今はビジネスでもフリーアドレスになっているので、それはいいかなと思っている。学びについては専用のICTの機器などは、持込みや、設置するなど、何か考えはあるのか。

○事務局 備品の関係についてはこれからの検討となるが、現段階の方向性として、Wi-Fiについては入れていくということで進めているので、Wi-Fiを基にいろいろな機材の展開等もできるのではと考えている。

○委員 新たな機能である音楽スタジオはイメージできるが、個人向け貸出スペースのイメージが湧かないので、教えてほしい。

○事務局 いわゆるコ・ワーキングスペースに近いイメージになる。長机があって、パーティションなどで少し区切られた形で一人ずつの座席があるスペースや、テーブル席も幾つか用意して、集中して調べものや仕事などができるところとして整備するイメージ。個人でこの場所を使うという形で、少し集中した環境でできるということで、電源の設備や、座り心地なども、通常の館内スペースよりも少しよくできればと、現段階では考えている。